



きらめく姿がいっぱい 2学期もありがとう

2学期を振り返ると、1学期同様、常磐っ子のきらめく姿が様々な場面で見られました。1年生は、保育園や幼稚園の子たちに常磐小を紹介し、自分たちで考えたゲームで楽しんでもらって、安心して小学校に来られるように心を通わせてくれました。2年生は、学区の町探検をし、郵便局やお店屋さんなど11の施設を回ってインタビューしながら学習を深め、学区について詳しく知ることができました。3年生は、おかげさ自然体験の森で環境教室を行い、森の豊かな実りに触れながら、自然と人が共存していくことの大切さを知ることができました。4年生は、1学期から続けている環境学習に加え、出前授業や校外学習を積極的に行ったことで、愛知県水質パトロール隊事業の学校部門で1位となり、優秀賞に輝きました。5年生は、福祉実践教室を行い、障がいのある方や高齢者について正しく理解し、すべての人が幸せに、生き生きと生活できるようにするためにどうしたらよいかを考えました。6年生は、小学校での学びのまとめとして修学旅行に行き、京都・奈良の文化遺産や自然に親しんで見聞を広めたり、友達との友情を深めたりして、小学校生活の楽しい思い出を作ることができました。全校行事においても、常磐っ子が心ときめかせ、きらめく姿を見せ、仲間とわかりあった場面がたくさんありました。誰もがみな主人公となり、学級、学年のみんなで最高の劇を作り上げた学芸会。自分の限界に挑戦し、苦しさには負けないで走り続けた持久走大会。保護者や学区の方々との交流を深め、すべての講座で和やかな笑顔が見られ、心温まる会となったふれあいデー。学年を超えてチームを作り、常磐小のみんなが笑顔になるように意見交換をして、思いやりの心の大切さを学んだ人権集会。どの行事も、常磐っ子の和やかな笑顔が見られ、心優しい言葉がけが聞かれました。この和やかな笑顔、心優しい言葉がけを「和顔愛語(わげんあいご)」といいます。

さて、世界に目を向けると、世界中が熱狂したサッカーの世界カップ。中でもメッシ選手率いるアルゼンチンの戦いぶりは最高で、優勝できた理由には大きく2つのことがあると思いました。1つ目は失敗を力に変えたことです。優勝候補のアルゼンチンは、初戦でサウジアラビアに敗戦します。ここでくじけることなく失敗から多くを学び、目標に向けてチームをどう立て直すべきか考え、実行したことが、次への勝利につながったと感じました。もう1つは、仲間や家族、支えてくれた人を思いやる強い心です。数々の栄光に輝くメッシ選手は、唯一ワールドカップのみ手にしていませんでした。もちろんサッカーはチーム競技なので、メッシ選手一人の力では優勝することができません。そこで、チームのみんながメッシ選手にワールドカップを手にしてほしいと思って全力でプレーし、メッシ選手もみんなと共にワールドカップをとり、仲間や家族、支えてくれた人たちとともに優勝の喜びを分かち合いたいと思って最高のパフォーマンスを発揮したと思います。優勝の瞬間、仲間と一緒にたたえ合い、家族とともに喜びを分かち合う姿は、世界中の人を魅了したことでしょ。

明日から、17日間の冬休みになります。自分の目標を決めて、失敗を恐れずに目標に向かって努力してください。何よりも大切な家族と共に、笑顔いっぱいの楽しい思い出を作ってください。相手を思って、心優しい言葉をかけ、自ら進んで行動してください。1月10日、和顔愛語(わげんあいご)でみんなと会えるのを楽しみにしています。



☆保護者の皆様へ 2学期間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

明日から冬休みに入ります。お子様やご家庭の皆様のご健康、安心、安全を心より願っています。

皆様が、素敵な新年を迎えることができ、2023年も日々笑顔で明るく元気に過ごせますように！